

令和6年度 一般会計と5特別会計及び水道・下水道事業会計予算を審査

予算審査特別委員会



委員長
大豆生田 春美



副委員長
前田 則隆



※予算審査特別委員会全体会の様子

予算の概要

本定例会では一般会計と5特別会計及び水道・下水道事業会計の令和6年度予算関係議案が提出され、議員全員で構成する予算審査特別委員会を設置し、審査を行いました。

令和6年度の一般会計と各特別会計及び水道・下水道事業会計を合計した歳入歳出総額は545億4228万2千円、予算総額を前年度と比較すると、13億9728万2千円、2.6%増となりました。

なお、歳出予算増の主な要因は、低所得者への物価高騰対策給付金、障害者自立支援給付事業費、児童手当等の扶助費の増加などによるものです。今後も右肩上がりに扶助費が増加することが見込まれる中、将来にわたる持続可能な財政基盤を確立するため、学校給食費に係わる公費負担が廃止されるなど、財政健全化と市民サービスのバランスを考慮した予算編成となりました。(各会計の詳細は以下のとおり)

一般会計、各特別会計別予算、水道・下水道事業会計予算の概要

(単位:千円、%)

区分	本年度予算額(a)	前年度予算額(b)	前年度からの増減額(c)	比率(c)/(b)	
一般会計	32,979,000	31,575,000	1,404,000	4.4	
特別会計	国民健康保険事業費	7,666,000	7,790,000	△124,000	△1.6
	介護保険	7,376,500	7,360,000	16,500	0.2
	子育て支援券	17,682	19,400	△1,718	△8.9
	後期高齢者医療	961,400	811,300	150,100	18.5
	須賀川財産区	56,700	1,300	55,400	4261.5
	小計	16,078,282	15,982,000	96,282	0.6
水道事業会計	2,366,000	2,485,000	△119,000	△4.8	
下水道事業会計	3,119,000	3,103,000	16,000	0.5	
合計	54,542,282	53,145,000	1,397,282	2.6	

※水道事業会計及び下水道事業の金額は収益的支出と資本的支出の合計

一般会計予算に対する附帯決議を可決

3月定例会の最終日に「議案第5号 令和6年度大田原市一般会計予算」に対する附帯決議が提出され、賛成多数で可決されました。附帯決議とは、議案(予算)に対して議会としての意見や要望を表明する決議です。

＜附帯決議の概要＞大田原市の令和6年度一般会計予算において、これまで実施されてきた学校給食費の半額補助が終了することを受け、以下の点を強く求める。

1. 給食費の半額補助を継続するための補正予算を再検討し、補助を継続すべきである。
2. 補助の継続が困難である場合、子どもたちとその家庭が直面する経済的負担を軽減するため、同等の支援策を速やかに検討し、提案及び実施をすること。
3. この決定に至った経緯と理由、さらには今後の支援策について、速やかに市民に対して十分な説明責任を果たし、積極的に対話をすべきである。
4. 給食費の無償化を国に対して強く要望するとともに、給食費補助の終了による影響を継続的に調査し、その結果をホームページ等で定期的に公表すること。
5. 持続可能な社会の構築に向けた恒久財源の検討に努めること